

## 株式会社 京都銀行

京都市下京区烏丸通松原上る  
郵便番号600-8652**地銀共同センター連携範囲拡大の取り組みとして  
「ナレッジインタラクティブワークショップ」に参加します！**

京都銀行（頭取 土井 伸宏）は、地銀共同センター参加行とNTTデータが共同で立ち上げた「ナレッジインタラクティブワークショップ」に参加しますのでお知らせいたします。

地銀共同センターでは、2020年9月から、事例共有会として参加行それぞれの取り組みについて、情報の共有を図ってまいりました。これを発展させ、より広範な議論でもって各行の課題に共同で対応することを目的に、新たなワークショップを立ち上げるものです。

当行含む参加行は、ワークショップへの参加により、他の参加行が検討・実施してきたさまざまな取り組みに関するアイデアやノウハウ等を相互に共有し、ベストプラクティスを自行の施策へ反映させることが可能になります。

当行では、今後も地銀共同センターの枠組みを活用し、システム領域に留まらない共通課題の解決を図り、さらなる価値拡大に向けて積極的に取り組んでまいります。

## 記

## ナレッジインタラクティブワークショップ概要

地銀共同センター参加行とNTTデータは、2020年9月から、事例共有会として参加行間の情報共有を行ってまいりました。これを発展させた本ワークショップでは、地銀共同センター参加行が連携範囲を拡大し、IT関連のガバナンス強化や人材育成等、これまでより広範な議論を行い、システム領域に留まらない各行共通課題の解決を目指します。

開催は月に1度程度を予定しており、ワークショップで議論した内容は「デジタルナレッジサイト」を通じて参加行の全行員に配信され、それぞれの業務に生かすことが可能です。

※参考：これまでの事例共有会テーマ

1	融資実行業務の集中化の取り組み
2	タブレット端末を用いた営業店業務改革の取り組み
3	業務連携基盤の活用による既存業務のコスト削減
4	為替集中システムの共同導入・活用
5	先進的ワークスタイルへの新たな取り組み
6	「intra-mart®」を活用したペーパーレス化の実現
7	営業店業務改革による、おもてなしとコンサルティング強化の取り組み
8	長期的なIT基盤戦略としてのデータセンター活用
9	IT投資効果の可視化にかかる新たな取り組み
10	本店建替えによるワークプレイス/ワークスタイル変革
11	検査業務見直しによる営業店業務の効率化

地銀共同センター…NTTデータが構築・運営する、地方銀行・第二地方銀行向け基幹系共同センター。

※参加行は以下の通り（利用開始および銀行コード順）

京都銀行、千葉興業銀行、岩手銀行、池田泉州銀行、愛知銀行、福井銀行、青森銀行、秋田銀行、四国銀行、鳥取銀行、西日本シティ銀行、大分銀行、山陰合同銀行

以上